

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人三徳会 だいじ(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 22日		令和8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 22日		令和8年 1月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い職員がいる、毎月講師を依頼して研修を行っている	講師による研修に全職員が参加できる。外部の研修にも参加している。障害特性の前提に発達の理解に努めている。	研修で学んだ知見を支援に活かしたい。
2	チームワークが良く、温かく明るい支援をしている	風通しの良い職場作り	効率的で実効性のある情報共有に努めたい
3	お子さんの成長への対応	だいじの支援を卒業していくことを喜びながら、いつでも必要ときには適宜対応する	移行支援の充実

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全員がほぼ同じ時間に昼食を取っている。また、朝会の呼びかけをしてもただ集まらない職員がいるため、情報の共有がうまくいかない。	時間をずらしたり交代制にすることで記録や話し合いの時間が作れるのではないかと。時間にシビアになることで情報共有の時間や機会が作れそうである。	女性特有の仲間意識で、一緒に食事をしたがる、時間にシビアになれない、簡潔な報告や情報共有の意識が低いなど工夫しようという意識が低い。専門性の高い職員によるリーダーシップが求められる。
2	保護者に対する情報発信が弱い	情報発信の意識が低い	情報発信と個人情報保護の両立を図る工夫、ツールの利用
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人 三徳会 だいじ

公表日 年月日

利用児童数

19

回収数

17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	15	2	0	0		スペースについては比較的恵まれていると思うので、具体的にお知らせしていただけるように努めます。
	2	14	1	0	2		職員配置についてお知らせしていただくように努めます
	3	16	0	0	1		障害特性や発達に応じた環境設定についてお知らせしていただくように努めます
	4	17	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	17	0	0	0		
	6	17	0	0	0		
	7	17	0	0	0		
	8	16	0	0	1		支援内容についてお知らせしていただくように努めます
	9	17	0	0	0		
	10	17	0	0	0		
	11	16	0	0	1		お子さんによって、仲よし会との併用をしています
保護者 への 説明等	12	17	0	0	0		
	13	17	0	0	0		
	14	17	0	0	0		
	15	17	0	0	0		
	16	17	0	0	0		
	17	17	0	0	0		
	18	17	0	0	0		
	19	17	0	0	0		
	20	17	0	0	0		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	1		個人情報の取り扱いには十分に留意していますので、そのことをお知らせしていくように努めます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	0	・未回答 1	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	0	・未回答 1 ・「毎回、だいじさんに行く日を楽しみにしている」と子どもが話しておりました。	・今後も楽しく通えるよう活動を工夫していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0	・未回答 1 ・いつもとても助かっております。ありがとうございます。	・活動の内容をさらに充実させ、より良い支援を目指して取り組んでいきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人 三徳会 だいじ				公表日	令和 8年 3月 2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2		・ホールのような広いスペースがあると良いと思う ・天候が悪い日に身体を動かす活動が限られてしまう
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1		・曜日によっては足りないと感じる ・下校時間が重なったり、訪問支援がある日によっては手薄になる時もある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	・各部屋を使用していることもある為、声を掛け合いながら対応している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	・参画する体制になっているが、活用しきれない事が今後の課題である	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	・さらなる向上を図っていく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	未記入1	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・定期的に研修の機会を設けている	
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2	・回覧している物は目を通すようにしている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0		・適切に作成していくように努める
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1		・共通理解がより深められるよう努める
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	・職員間でねらいを確認している	・共有されるように努める
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	・未記入1	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	・職員の一部が決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1		・必ずではない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	4		・必ずではない ・話し合う時間がない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		・記録の仕方にばらつきがあり改善が必要
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2		・未記入1
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		・未記入3 ・対象なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	7		・未記入1
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		・未記入2
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2		・機会を増やしていきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	1	・育児講座や保護者会の開催時、座談会等で交流の場を作ったり、その際に預かりを行い、兄弟の受け入れを行っている	・きょうだいの交流も図っていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	3		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1		・回覧がたまっている
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	・だいじまつりで隣接の園児を招待したり、保育園の夏祭りにブースを設置させてもらい交流している。また長期休みには、プラネタリウム鑑賞など、公共の施設を利用している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	3	・未記入1 ・事例はないが、保護者からの申し入れには対応している ・保護者からの聞き取りに留まっている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	2		